

千代田界隈のレトロな風景



柘榴（ざくろ）

待っていても落ちてこないですね。（千代田2丁目）

み
ど
り
の
風

人・ひと日記

小林 功

前回はピッチャーハーバーが投げる変化球の昔と今について調べてみました。今回はプロ野球のチーム名について調べてみました。プロ野球は昔（私が記憶しているのは昭和30年代）からセントラルリーグ、パシフィックリーグ共六球団で構成。チームの経済的事情等で球団の経営会社が変わることに伴いチーム名も変わってきています。特にパリーグは全てのチームがそうです。まずオリックスの前身は阪急ブレーブス、日本ハムは東映フライヤーズ、ソフトバンクは南海ホークス、ロッテは毎日オリオンズ、西部は西鉄ライオンズ。楽天は近鉄バファローズが抜けた後に新規参入。一方セリーグは大洋ホエールズが横浜ベイスターズへ、国鉄スワローズがヤクルトに変身したのみで、読売ジャイアンツ、中日ドラゴンズ、阪神タイガース、広島カープはさすが老舗という感じで堂々と生き残っています。

「終わりが視野に入ってきた」WTO（世界保健機構）のテドロス事務局長の最近の発言。常にコロナがある環境を認めたうえでの終息とは……。必要な条件は①ワクチン接種の推進②感染状況の監視と検査③治療体制の整備④政策を丁寧に説明するコミュニケーション。従来から言われてきている事です。マスクをどう外すのか？が最近の関心事。政府のお墨付きで行動するというのもかなうものかと思いますが私は自転車に乗つて行が心配される季節です。マスクは自分で出来る最低限の対策ですが、会話や挨拶の途中、さりげなく顔を見せることが大事なこ

2022.11.1
-NO.290-

発行 社会福祉法人 悠朋会

千代田	介護支援センタ	042-751-0672
児童クラブ	いちばん星	042-704-0261
65	15	02881
86	28	0672
80	58	11

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com

千代田 秋の運動会



10月6日(木)、14日(金)の2日間で
千代田運動会を開催しました☆

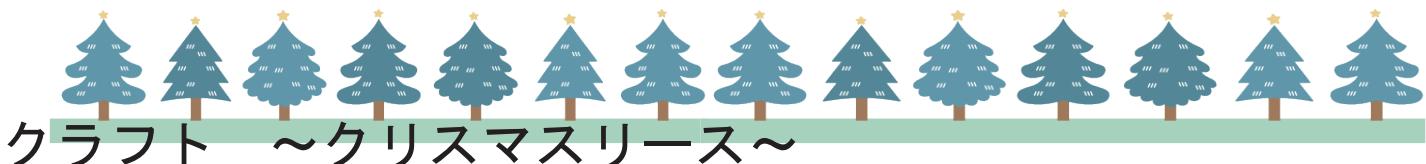
今回は集団競技では「お手玉送り」や
「重量挙げ」、「玉入れ」をチーム分けし
楽しんでもらい、個人競技では「体力測定」
を実施しました。



当日のお昼は、運動会のお弁当をイメー
ジしたおにぎりにお稲荷さんに唐揚げ☆お
やつにはパン食い競争をイメージした?あ
んぱんを召し上がっていただきました♪



体力測定は5つの検査項目も少し内
容を変えつつも3年目になりました。
毎年検査用紙を大事に保管されてい
る方もいるようで、去年のご自身と
競い合われています(^_-)-☆



少し気は早いですが、来月はクリスマス☆

10月のクラフトでクリスマスリースを作成して頂きました♪
四角い布を連ねて作るクリスマスリースは温かみのある仕上がりで、寒い時期でもおうちの中をあたたかい雰囲気にしてくれる
と思います☆★



第12回 星が丘地区ふれあいフェスティバル

うどん250食 完売！

10月23日(日)、星が丘地区ふれあいフェスティバルにて『うどん屋』を出店しました。久々の開催でしたが、今年は陽気も良く、来場される方が多かったです。なんと13時には完売しました！大盛況でした。
売上金は47,100円でした。



今年のうどんのトッピングはネギ、かまぼこ、いなり揚げでした。なんと200円で販売。昼前から飛ぶように売れました。本村市長もご来店です。いつものように買って頂きました。

出展ブースの他に、福祉バザーや舞台での演目など大盛り上がりでした。皆さん感染症対策をしっかりしてましたね。千代田2丁目の梅津さんが高齢者顕彰を授与されました。恒例となりましたうどん屋前での万歳三唱をしました。来年も出店したいですね。



外出リハビリ
書道
体重測定
誕生会

未定
10日(木)、25日(金)
7日(月)~13日(日)
24日(木)~30日(水)





職員隨走リレー ～其の十九～



ヘルパー千代田
神林 直樹



二見興玉神社

今回皆さんにお届けするのは、「お伊勢参り」です。私事ですが、今年10月にとうとう還暦を迎えるました。本厄ということもあり、三重県の伊勢神宮へお参りに行つきました。

お伊勢参りと言えば、江戸時代には一生に一度は参拝したいと誰もが憧れた大旅行。当時は、江戸からでも2~3ヶ月かかる大移動でしたが、今では車で片道5時間ちょい、眠い目をこすりながら、朝4時に二泊三日で出発しました。最初に向かったのは、二見興玉神社。まずは60年間に積りに積もった身の穢れを清めます。



外宮正宮

そして、いよいよ伊勢神宮外宮から内宮へ。これまで無事健康で過ごせた御礼をします。ご祈祷を受けるために、数年ぶりにスーツに袖を通して、神楽殿の板の間にこれまた久しぶりの正座。お祓いを受けるのと同時に足の痛みとの戦いでもありました。おかげで無事、身も心も晴れやかにリセットされ、また一からの再出発です。

古希、傘寿、卒寿、百寿と迎えて来られた大先輩方には、まだまだ遠く及びませんが、これまで同様明るく健康的に過ごし、皆さんと一緒に元気で日々を送っていきたいと思います。
これからも宜しくお願ひいたします。



内宮宇治橋